



所属：業務部 特別分析官
平成17年度採用（Ⅱ種・農学）

理系職員の活躍を
動画で詳しく見る



現在の業務内容を教えてください。

分析技術を活用して輸入申告された貨物の成分分析や不正薬物の鑑定などを行っています。名古屋税関は、特別分析官及び統括分析官の2部門体制です。私が所属している特別分析官では、食品や無機物の成分組成を調べる分析などを行っています。輸入貨物は、成分やその割合によって関税率が異なる場合があります。成分分析を行うことにより正しい関税率を導き出すことができます。このように税関の使命「適正かつ公平な関税等の徴収」に関わる重要な役割を担っています。また、税関で摘発した薬物の鑑定も行っており、「安全・安心な社会の実現」の面でも貢献しています。



働いていて大変だと感じることはありますか。

分析室リニューアル!

名古屋税関分析室は約1年間のリフォーム工事を経て、令和4年9月に生まれ変わりました。



キレイで快適な分析室に!

理系の知識がマニアックなところでは、大学では植物の遺伝子の研究をしていました。初めて分析部門に配属されたのは化学品担当の方の部門だったのですが、有機化学の知識が分からず、「ノルマル、イソって何ですか?」という程度でした。

ただ、実験は上司、先輩に教えてもらいながら学ぶので心配しなくても大丈夫です。配属後約1年で基本的な分析は一通りできるようになります。



入関して感じたこと、良かったことは何ですか。

様々な部門の方と関わるができることです。税関には通関、取締、調査など多くの分野がありますが、輸入貨物の分析や薬物の鑑定を通して多くの方々と関わるができます。

また、海外の税関の分析部門の職員が関税技術協力によりお越しになり、国際交流することもあります。

また、分析部門以外の分野で勤務している際、化学系の知識で重宝されることです。他の職員が業務上、化学の知識が必要となった時、「あの人分析系だから聞いてみよう」とよく言われ、人脈が広がったことです。

